

産業保健*に 役立つ 統計情報通信 Vol.3

*産業保健とは働く人の健康対策を行うことをいい、労働基準法と労働安全衛生法によって法的に定められています。

保健看護管理室 統計情報課
係長 中西 湖雪

ここでは、健診結果を分析して産業保健活動を展開したA社の取り組みを紹介していきます。今回は動脈硬化対策として受診した「スペシャルドックの結果」です。

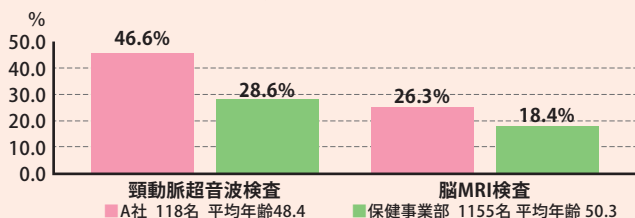
A社の目標は「仕事中に健康起因事故を起こさない!」です。動脈硬化対策を重要視しているA社は人間ドックに脳MRI検査、頸動脈超音波検査を含めた「スペシャルドック」を2013年度から導入しました。

対象者

40・45・50・55・59歳の指定年齢年に定期健康診断をスペシャルドックとして受診しました。

有所見率の比較

スペシャルドックを受診したA社の118名と、保健事業部の各施設で頸動脈超音波検査と脳MRI検査を受診した1155名の有所見率を比較してみました。長年の不規則な生活を余儀なくされるA社社員は動脈硬化の有所見率が多いことがわかります。主な所見は脳動脈瘤、脳梗塞、頸動脈プラークであり早期治療につなげることができました。



治療対象者

脳動脈瘤5件(内、3件は手術適応)、脳梗塞疑い3件、脳動脈主幹動脈狭窄・閉塞2件がありました。

社員の声

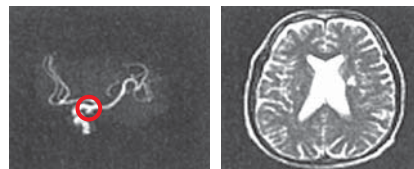
- ▶ 脳動脈瘤がわかって手術を受けて命拾いをしました。人間ドックを受けて本当に良かった。
- ▶ 脳MRI・MRAや頸動脈超音波検査は血管の様子が画像で説明されるので、自分の血管がどの位つまっているのか分かった。
- ▶ 自分にも何かあるかもしれない。指定年齢まで待てない。早く受けたい。

オススメです!スペシャルドック

【スペシャルドックとは】

当事業部では1日人間ドック+脳ドックをスペシャルドックとしています。脳と身体をチェックする理想的な人間ドックです。脳ドックには脳MRI検査が含まれています。

- 放射線による被曝がない検査で痛みは全くありません。
- 放射線検査では分からない微細な脳・脊髄の異常を診断するのに優れています。
- 造影剤を使用しなくても血管の状況を把握することが可能です。



未破裂脳動脈瘤の発見